

## 指名制トライアル事業について

平成22年2月4日  
日本水先人会連合会

## 1. 事業の進捗状況

## (1) 指名への対応

指名制トライアル事業は、第4回水先小委員会(平成21年6月25日開催)において実施合意に至ったものであり、指名制トライアル事業準備会合(同日開催)で決定された具体的実施方針に沿って、下記のとおり実施されている。

※ 上記準備会合において、「第1段階」として指名制を円滑に実施するためのデータ収集等を行った後、「第2段階」として事前指名契約交渉(料金を含む。)を行う段階に進めることとした。

水先区	第1段階		第2段階	
東京湾	第1段階実施期間	平成21年7月17日～9月4日	第2段階開始日	平成21年12月9日
	対象バース・船種	東京大井 6/7号:コンテナ船(6万GT以上) 川崎JFK-EA,EB:大型鉱石船(7万GT以上)	対象バース・船種	同左 ※第1段階の対象船舶でスタートし徐々に拡大する方針
	指名実績(隻数)	72隻	指名実績(隻数)	(実施中)
	参画水先人数	40人	参画水先人数	40人(現在)
伊勢三河湾	実施期間	平成21年8月1日～9月15日	開始日	平成21年12月22日
	対象バース・船種	名古屋新日鉄F-11～13:大型鉱石船(7万GT以上) 名古屋L-1,2、四日市E-1,K-9:LNG船	対象バース・船種	同左 ※第1段階の対象船舶でスタートし徐々に拡大する方針
	指名実績(隻数)	44隻	指名実績(隻数)	(実施中)
	参画水先人数	40人	参画水先人数	54人(現在)
大阪湾	実施期間	平成21年10月19日～11月18日	開始日	平成22年2月1日
	対象バース・船種	堺LNG・大阪ガス第二工場:LNG船	対象バース・船種	同左 ※第1段階の対象船舶でスタートし徐々に拡大する方針
	指名実績(隻数)	27隻	指名実績(隻数)	(実施中)
	参画水先人数	30人	参画水先人数	50人(現在)

内海	実施期間	平成21年11月10日～12月15日
	対象バース・船種	和田～東播磨:大型鉱石船(7万GT以上) 関崎～部崎:コンテナ船(全長200m以上) 関崎～苅田:自動車専用運搬船
	指名実績(隻数)	49隻
	参画水先人数	43人



	開始日	今後の事業拡大を勘案して検討中
	対象バース・船種	同左 ※第1段階の対象船舶でスタートし徐々に拡大する方針
	指名実績(隻数)	(所要手続き中)
	参画水先人数	ノミネート対象水先人89人(所要手続き中)

## (2) 料金の対応

第2段階トライアル事業に参画する水先人は、指名による水先業務提供を希望するユーザーと事前契約を締結し、国土交通大臣に変更を届け出た新水先料金(割引料金)を適用し、指名による水先業務を実施している。

新水先料金の届出を行う水先人の数は、順次増加中である。

※ 新水先料金(割引料金)の例

トン数加算額について、4万トンを超え6万トン以下の部分については3割引、6万トンを超える部分については4割引とする。

## 2. 事業の拡大予定

### (1) トライアル事業の次のステージ

対象船舶 4万総トンを超える船舶を主体とし、1万総トン以上の水先対象船舶の15%を目標として拡大する。

開始時期 平成22年2～3月中に開始できるように準備する。

参画水先人 総水先人の60～70%に拡大を図る。

(注)

1. 水先区ごとに対象船種、区域又はバースを考慮して拡大を図る。
2. 料金は、参画水先人からの届出済みタリフ適用が前提となる。
3. 指名契約にボリューム条件を付した水先人については、配船数の少ない船社が他の船社と「指名に係るグループを組む方法」に配慮するよう推奨する。

### (2) トライアル事業の目標

参画水先人の更なる増加を図り、上記対象船舶の約30%まで拡大し、平成22年度上半期まで継続する。

(注)

1. 目標の達成時期については、各水先区で検討が進められている。
2. 最終的な対象範囲については、ユーザーと実施状況を確認しつつ、ユーザから十分な評価が得られるところまで行う。

### (3) 具体的拡大計画

各水先区において、上記目標を達成するため、別紙の拡大計画をもって取り組む。